



木木木

エルヴィン！

エルヴィン！！

おまえは俺を  
置いて行かぬえって  
約束したじゃねえか

必ず戻ると  
約束したじゃねえか

エルヴィン！！

いやだ





明後日から出掛けようと思  
っているんだが……

ぽかぽか

ほろちゃん

リヴァイ

んー？



あ？

おまえが宣言して  
出掛けるなんて……



……何用意して  
行けばいいんだ

着替えと日持ちのす  
食べ物と水と……



エルヴィン！！

ふたりで  
遠出は久々だな

せいぜい町へ買物に行く  
くらいだったからね

けっきょく壁の外へ  
出られても大して  
行動範囲は広がっちゃ  
いねえなんてな

制限されて遠くへ行けないのと  
自ら遠出をしないのでは  
まったく気持ちが違うよ

……そりゃあそうだ

リヴァイに見せたい  
ものがあるんだ……

どうだ？  
帰ったら馬を飼う計画を  
立てようじゃないか

ヒューウウウウ...

ああ了解だ  
エルヴィン

綺麗だ.....



リヴァイ

今夜は  
このオアシスで  
休もう

砂漠の真ん中にこんな  
でけえ森みたいなの  
オアシスがあるなんてな

俺も最初にここへ  
来た時は驚いたよ

現地の人には  
海の森と言われて  
いるそうだよ

海を見たことが  
ない人たちには  
ここの湖が海だと……

ほう……

……  
いち、にい、さん……  
もう三日目か

なんだ？  
もうホームシックか？

いや  
そんなじゃ  
ねえが

おまえとならどこでも  
いいなんて言えねえ



俺がいるから  
平気だって？

ん？



かあああ

て、てめえ……っ

ほんつとに  
自信過剰なやつめ！



暮らし始めてしばらくは  
毎朝不安で目が覚めたよ  
おまえがいなくなつて  
いるんじゃないかって

目が覚めておまえの  
黒くて丸い頭を  
見つける度に心底  
ホッとしたものだ

ななな

俺といる必要が  
なくなつたのに  
ずっといっしょに  
いてくれている

お前は……



それから数ヶ月経って  
そんな不安に怯えなくて  
いくくらいに俺は

おまえがそばにいることに  
値する男だと自惚れているよ

すのん



フン

もっと自惚れさせて  
やろうか



んん？  
臭うか？

てめえの匂いが  
すげえ濃い……

ここ数日  
体拭いてた  
だけだろ

クソツ  
たまんねえ……







リヴァアイっ  
リヴァアイ……

あ……っ  
いい……

はあっ……！

エルヴィンっ……！！

リヴァイ……

なあリヴァイ……

あっ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ



シロノネノカケル

コウヤ



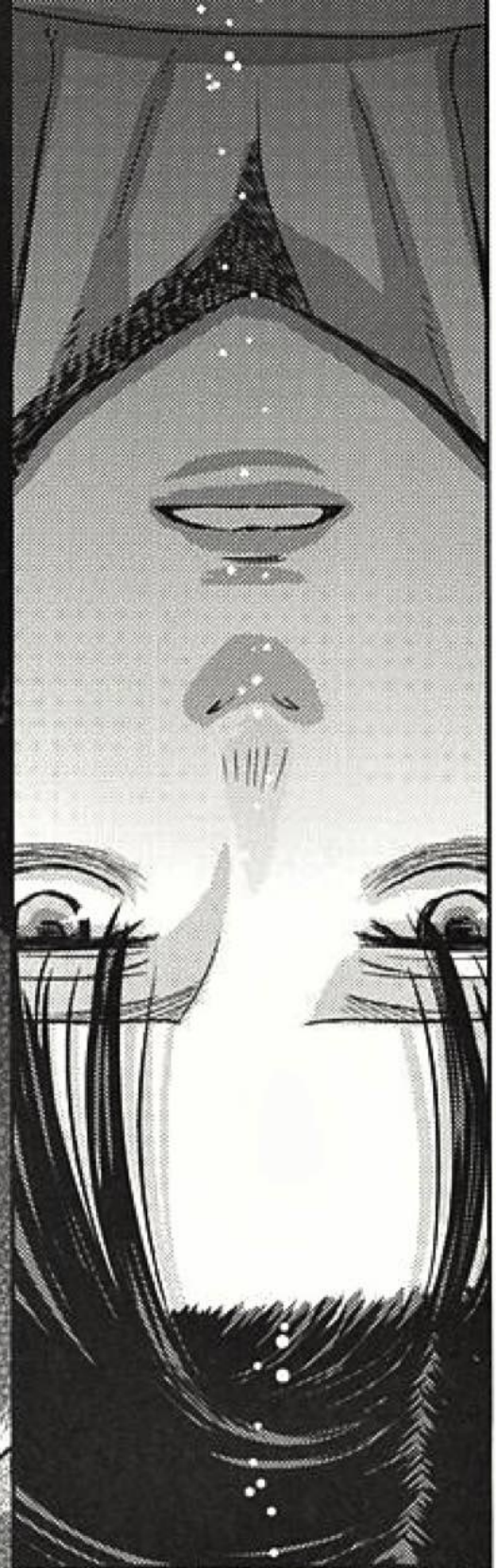


リヴァイ



あー

月がすげえ……



ん……

寝ちまったか

ほんの  
小一時間かな



!!

おいで

ん

ぼすんっ



あ

とろ...



……体を清めに行かないか？

リヴァイ

見せたいものがあるんだ



ちっ  
クソが……っ！  
中で出しやがって

すまん



美しいだろう？

いつかの旅で  
偶然満月の時に  
見てね

おまえに見せたくて  
今回も満月の夜を  
選んだんだ

ちやぶ

冷てえな

すぐ慣れる

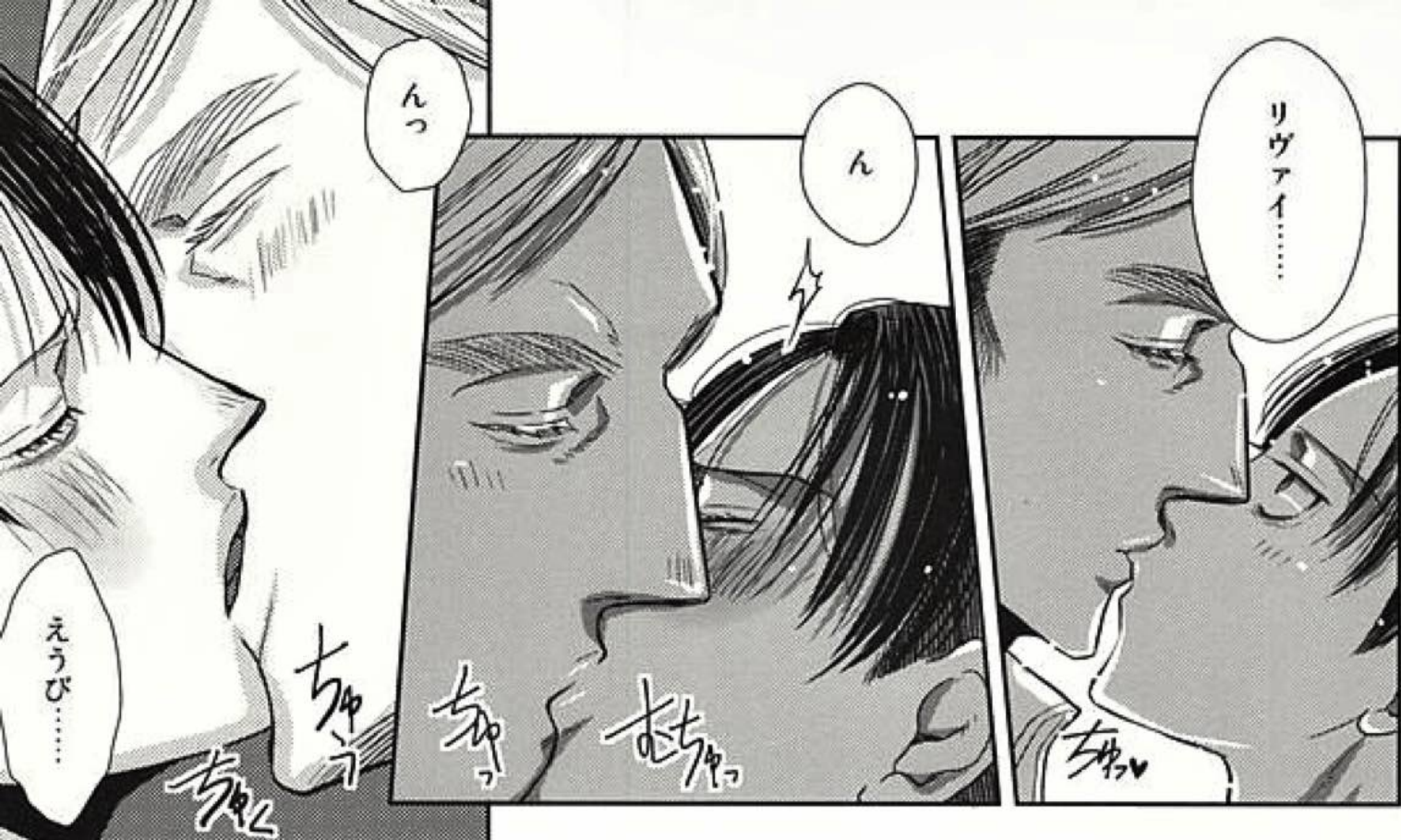


けっこう  
深いんだな

古い水源のようだ  
ここらあたりでは  
とても貴重だよ







んっ

ん

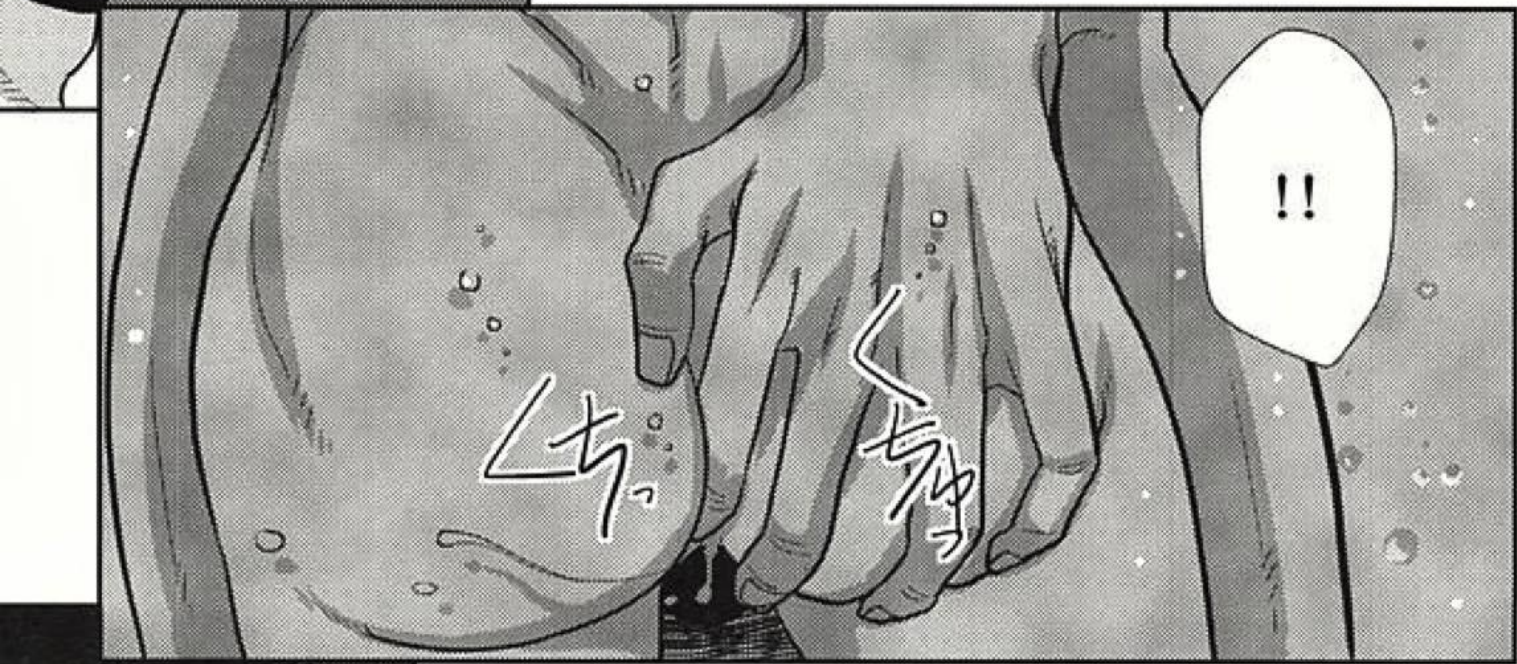
リウアイ……

えうび……

ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ



!!

ちゅっ

くちゅっ



綺麗になったよ

うあ……っ！

中を出すから  
我慢しろ

ん……

ちゅっ  
ちゅっ



エルヴェイン?!

めちやくちや  
腫れてるじゃねえか!

噛み跡があるから  
オアシスに水棲する  
何かに……

何だそりや?

噛まれ……っ

く……っ!

おい……っ!?

エルヴェイン!



リヴァイ

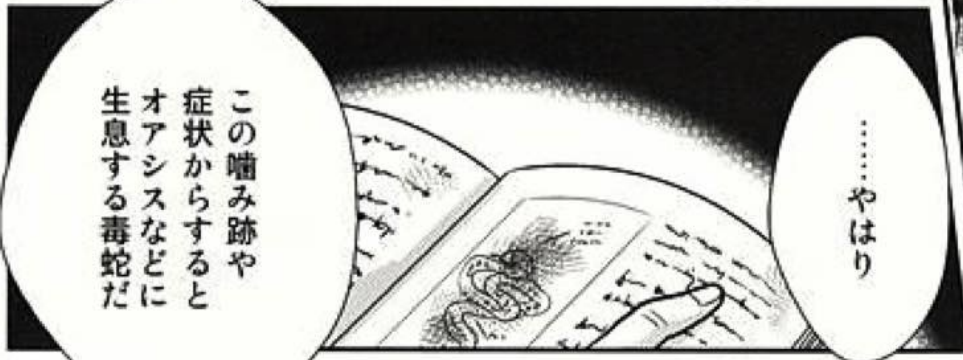
俺の荷物にある本を……

は

は



……やはり



この噛み跡や  
症状からすると  
オアシスなどに  
生息する毒蛇だ



おいおい！  
そんなやべえもん  
いるところに入  
ったのかよ

いや、ここの辺は  
生息地ではない……  
はずなんだが

リヴァイすまないが  
そこに書いてある通り  
処置してくれないか

脚を心臓に近い方にきつく  
縛ってナイフで患部を切り  
毒を……吸い出す……



それだけかよ？  
薬とかねえのか？

どうする？  
背負って医者のもとへ  
連れて行くか？

駄目だ、さすがにこいつを  
背負ってでは時間が  
掛かり過ぎる！

置いて走って街まで  
医者を呼びに行くか



それしかない……!

!?

リヴァイ  
行くな

これは強い毒だ  
助からない

最期にひとり  
しないでくれ

はあ?  
何言ってるやがる

兵団にいた時に死なないで  
こんなところで簡単に  
死ぬのかよ元団長さんよ?

フッフ……

そんなもの  
なのかも……な

エルヴァイン!?

おい!

エルヴィン  
てめえ約束を  
破るつもりか

今さらてめえを  
削ぐことになる  
なんてな

てめえは殺しても  
死なねえしぶとい  
野郎じゃなかったのかよ

エルヴィン

エルヴィン

エルヴィン

先に逝くなんて  
絶対赦さねえ

なあ  
置いて逝かないで



うんうん  
うんうん

もう家も決めてある


……

……了解だ  
その代わり約束しろ

何だ？



俺を置いて先に逝くな




リヴァイ  
俺は出来ない  
約束はしない  
主義だ

……



精一杯善処する

……だが



リヴァイ  
それではダメか

あーあー  
てめえはまったく  
クソ正直な野郎だ！

俺は約束したと  
思ってるんだ！



置いて逝くなと  
言ったのは俺だっ  
ていうのに

仕方ねおえ  
おまえを嘘つきに  
したくねえからな

置いて逝くな

俺をひき止めるな



えるびん

えるびん



おれを  
おいて  
いくな

いんたなもん



エル  
ウィン

える  
びん



エル  
ウィン

目が  
覚めた  
か



……生きてる

おま……

……そうか……



！  
うち家だ!?

リヴァイだ!?

あれから三日も経ったんだぞ

天国か!?

それを言うなら地獄だろ……



てめえ  
俺がどんだけ……

ヒキ

え? わ!  
リヴァイ?



おま

エルヴィン

いつもいつも死に損ないめ



リヴァイ……

ぼろ



……



そうか……

……

ぼろ



で、具合はどうだ

ん？

ちよっと痺れが  
あるくらいかな？



リヴァイ  
ごめん……

すまなかった



なありヴァイ

夢でおまえに似た  
子供が出てきたよ

俺を置いて逝くなと  
言っていたよ



なんだか知らねえが  
いいこと言う  
ガキじゃねえか

約束は守って  
もらわねえとな



リヴァイ

まだまだおまえと  
行きたいところがある

実は旅する以外にも  
やりたいことがあってね  
ずっと準備していた

あ？そうか  
薄々気付いてはいた

……おまえに  
手伝って欲しい

てめえはまったく存外に  
抜けてるから俺が付いて  
ねえとダメだな

……了解だ  
エルヴィン

ほくはエルヴィンの  
遠い親戚の子供

リヴァアイ

エルヴィンによく  
似てるって言われる

ホムシ  
よぶネ

彼はリヴァアイ

ミ

ん？

エルヴィンの  
恋人で同居人で  
とっても可愛い人

あのね  
エルヴィンから  
おもしろい本を  
借りたから読んで？

人妻の熟れた  
や、柔肌に触れ……

これを  
エルヴィンが？

うん！

本棚に  
あったから  
借りたよ

かわいい

？

「もう意地悪しないで  
あ、熱くて太いのを頂戴！」  
たまら小さな悲鳴……

？

あ、「あ、嫌よ、駄目……」  
く、「口ではそう言うがほら  
ここはこんな」



...

山々!!  
俺たちの未来を  
運ぶ未来を...

... 山々!! 俺たちの未来を 運ぶ未来を...

山々!!



*Lilith*

©2015

Matthew ★ Mallow